

日銀の植田総裁は今後も利上げを続ける方針を示す

2025年 1月28日

調査部 特任研究員 北田 英治

日銀は25年1月の金融政策決定会合で0.25%の追加利上げを決定

日本銀行（以下、日銀）は1月24日の金融政策決定会合で、政策金利である無担保コールレート（オーバーナイト物）の誘導目標を、0.25%程度から0.5%程度に引き上げることを決定した。植田総裁は会合後の記者会見で、今回、追加利上げを決めた理由として、「経済物価が見通しに概ね沿って推移しており、先行き見通しが実現していく確度が高まっていると判断した」¹と述べた。そして、前回12月の会合で利上げを見送った理由との関連から、「春季労使交渉（春闘）は昨年引き続きしっかりと賃上げの実施が見込まれる」と判断したことや、「トランプ大統領が就任し、政策の大きな方向性が示されつつあるが、国際金融資本市場は全体として落ち着いている」と判断したことを付け加えた。

中立金利には「まだ相応の距離がある」

今後の金融政策については、「現在の実質金利が極めて低い水準にあることを踏まえ、経済物価の見通しが実現していけば、それに応じて政策金利を引き上げ、金融緩和の度合いを調整していく」と述べ、今後も利上げを続ける方針を表明した。また、景気を熱しも冷ましもしない中立金利について、日銀の分析例として「1～2.5%くらいの間で分布している」と言及し、「現在の政策金利が0.5%になったとしても（中立金利には）まだ相応の距離があるとみている」と述べた。中立金利の水準が何%なのかピンポイントでは分からないものの、最低でも1%程度であるのであれば、この先0.25%の利上げを少なくとも2回実施しても、日本経済全体への影響はあまり大くないということになる。

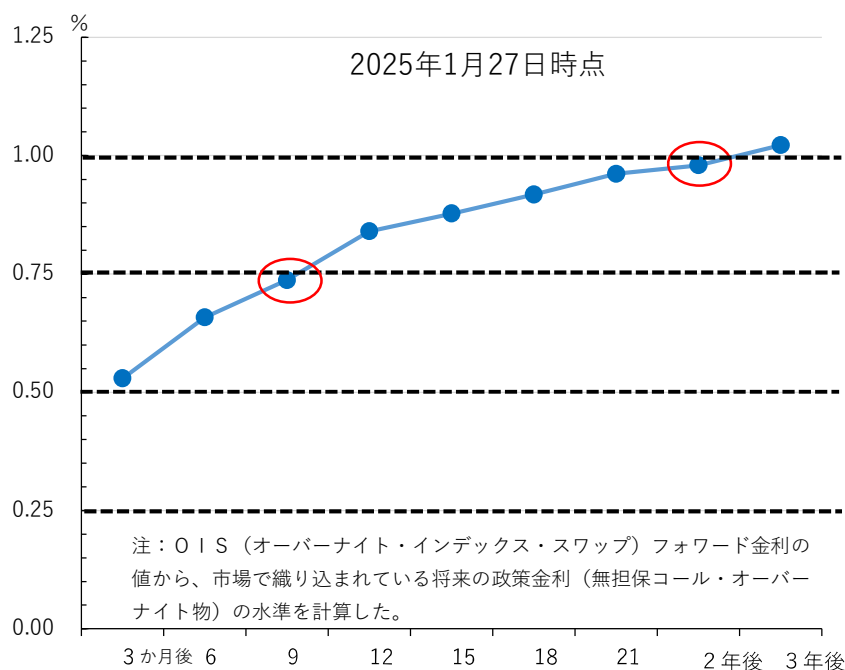
次回の利上げ時期は早くても今年7月の会合か

では、次回の利上げはいつ頃になるのであろうか。植田総裁は今回の記者会見で、「（利上げの）ペースやタイミングは、今後の経済・物価金融情勢次第で予断は持っていない。毎回の会合で、その時点で利用可能な各種のデータ情報から適切に判断していきたい。」と述べている。この点か

¹ 植田総裁の記者会見での発言内容については、日本経済新聞2025年1月25日朝刊に掲載された「日銀総裁 会見要旨」を参考にした。

らは、日銀が決して利上げを急いでいる訳ではないことがうかがえる。その一方で、記者から「経済を冷やす効果をもつ利上げを実施した理由」について問われた際に、植田総裁は「インフレ率が徐々に上がっていくなかで、金利が低い状況を長期間続けるとインフレ率が後になって急上昇する。そうすると急激な金利の引き上げを迫られることになりがちだ。そうなればコストの方が大きいので、経済の体温あるいは物価の情勢に合わせて適宜利上げをしていくことが必要になる。」と答えており、物価情勢に応じて段階的に利上げを探ることがベストな選択肢であることを説明した。現時点で日銀の追加利上げの時期を予測することは難しいが、これまでの利上げのペースが維持されると想定すれば、次の利上げ時期は早くても今年7月の決定会合となろう。7月の会合であれば、「経済・物価情勢の展望」も公表されることから、日銀の考え方をより丁寧に説明することも可能となる。ちなみに、将来の政策金利（無担保コールレート、オーバーナイト物）の予想を反映するオーバーナイト・インデックス・スワップ(OIS)金利をみると、9か月以内の0.25%追加利上げを概ね織り込んでいる（図表1）。

図表1 O I S金利が示す日本の政策金利の予想水準



出所：Bloombergより浜銀総研作成

執筆者紹介



北田 英治（きただ えいじ）

浜銀総合研究所 調査部 特任研究員

マクロ経済・金融マーケットを中心とする調査業務を担当。

各種レポートの作成や講演活動などに携わる。

F Mヨコハマの朝の番組「ちょうどいいラジオ」の経済コーナーに毎週レギュラー出演中。

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取り扱いいただきますようお願いいたします。